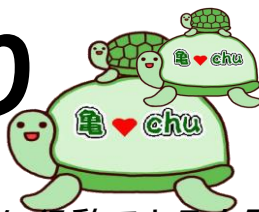




亀戸中だより



令和 7 年 11 月 7 日 発行
江 東 区 立 亀 戸 中 学 校
<https://kameido-chu.koto.ed.jp/>
発 行 者 校 長 三 浦 秀 樹

“笑顔と本気で真剣な姿”のある学校

本校教育目標：「思いやりの心を持ち、主体的に行動できる人間を育成する」
「探究」「敬愛」「挑戦」

無音の熱狂を体感せよ！デフリンピック

「行かないと分からない」「一生に一度のチャンス」 ぜひ、観戦してみよう！

2025 年 11 月 25 日から 11 月 26 日まで(12日間)、世界中の聴覚に障がいのあるアスリートが集うスポーツの祭典、デフリンピックが、日本で初めて、100 周年大会として東京各地で開催されます。デフリンピックは、生徒の皆さんがこれから築いていく「共生社会」について、学ぶことができる大会です。



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

【音を遮断した世界で感じる「静かな熱狂」 迫力】

デフリンピックの最大の特徴は、競技中に「音」が原則として存在しないことです。

皆さんにとって、スポーツの応援とは、歓声や拍手、そして審判の笛の音でしょう。しかし、この大会では、スタートの合図はランプの点滅や視覚的なフラッグで行われ、競技中のコミュニケーションは手話が中心となります。

皆さんが会場で目撃するのは、音のない世界で繰り広げられる、研ぎ澄まされたアスリートの集中力と、一瞬の視覚情報に全てを賭ける、凄まじい迫力です。

これは、テレビの画面越しでは決して伝わりません。静寂の中で、選手が爆発的な力を発揮する瞬間を肌で感じたとき、皆さんは初めて「聞こえない」という状態が、単なる「不便」ではなく、「集中力を高めるための環境」にすらなり得るという、事実気づくでしょう。

【「多様なコミュニケーション」 感動】

会場では、選手や観客、スタッフが、国際手話、筆談、字幕、そして最新の情報保障技術を駆使して交流しています。皆さんが教科書で学んできた「多様性」が、そのまま「生きたコミュニケーション」として目の前に展開されるのです。

この体験は、皆さんの心に、「話す・聞く」だけがコミュニケーションではないという、大きな意識変革をもたらします。違いを恐れるのではなく、「どうすればつながれるか」を自ら考え、工夫し、行動に移すことの大切さを、アスリートと観客の姿から学ぶことができます。

日本で初めて開催されるデフリンピックを、この目で見る。それは、「共生社会の実現」という目標を、大人の課題としてではなく、「今、自分たちが実現すべき未来」として捉え直す、またとない機会となります。

会場に足を運び、視覚と心で、アスリートたちの努力、そして「静かな熱狂」を全身で感じ取ってきてください。その体験こそが、皆さん自身の未来の価値観を築く、最高の体験となるはずです。

<江東区開催情報>

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| ・水泳(東京アクアティクスセンター) | *11月20日から11月25日 メダルセッションは夜間実施 |
| ・テニス(有明テニスの森) | *11月16日から11月25日 メダルセッションは休日実施 |